（一社）奈良県サッカー協会第４種委員会主管大会の暑熱対策について

平素は、弊委員会主管事業に多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

年々気温が高くなる時期が早まり、大会を主管し運営する条件が益々厳しくなっております。

落雷に対する対応は NFA より一定の対応策を示されましたが、今後も熱中症予防対策としてWBGT 計の値が25以上28未満の場合には『飲水タイム』を採用し、28以上となった場合又は、それを超えることが予想される場合には、『クーリングブレーク』を採用し、選手の安全、安心を最優先し大会運営を実施します。

（WBGT 計の値が25未満の場合であっても下記の対策を実施することがある。）

『飲水タイム』又は『クーリングブレーク』を採用した場合の運用方法は下記のとおりとしますので、チーム関係者・審判員の皆さまはご理解とご協力を頂きますよう、お願いします。

記

- 各チームは必ず、日射を遮ることが出来るテントを用意し、各試合で自らのベンチに持ち込み、日陰を作ること。
- 全選手・チーム役員が同時に入り、かつ氷や飲料等を置くことが出来るように最大2基迄まで設置が認められる。（安全対策は各チームで対応）
- 『飲水タイム』又は『クーリングブレーク』は、『前後半１回ずつ約半分（10 分）の時間を経過する頃』とする。
- 『飲水タイム』は 30 秒～1 分間程度とし、主審は選手にポジションにつくよう指示してなるべく早く試合を再開する。
- 『飲水タイム』は、あくまでも飲水のためである。戦術的指示を行うことはできない。
- 飲水に要した時間は、「その他の理由」により空費された時間として、前後半それぞれに時間を追加する。
- 『クーリングブレーク』中は、『①日陰にあるベンチに入り、休む。』、『②内部・外部から身体冷却する。』、『③水分補給する。（スポーツドリンクを推奨する。）』となっており、各チームで積極的にその行動を取るようにすること。
- 『クーリングブレーク』の時間はおおよそ3分間（第4審が計測）とし、審判の合図でベンチに向かってから試合再開までの時間とするので、審判の指示により速やかに、各ポジションに配置するように指導する。
- 『クーリングブレーク』に要した時間は「その他の理由」によって費やされた時間として前後半それぞれの時間に追加される。
- 『クーリングブレーク』中の「戦術的な指示」は認められるが、時間厳守とする。
- 『飲水タイム』又は『クーリングブレーク』中の選手交代は第 4 審判（補助審判）に許可を得て、交代ゾーンから選手を交代することができる。
- ベンチ入りのサブメンバーは、必ずユニフォームと異色のビブスを着用すること。
- 「JFA 熱中症対策ガイドライン」を確認し、チームで対応できることは積極的に準備すること。

以上

2025 年 5月 5日

（一社）奈良県サッカー協会４種委員会